

事業番号	09 02 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	食の地域内循環と農山村発イノベーション推進事業	部局	農政部	課・室	農産物マーケティング室	
		実施期間	H25 ～	E-mail	marketing@pref.nagano.lg.jp	

### 1 現状と課題

・宿泊、給食施設などの実需者による県産農産物等の利活用が進んでいる一方で、県内生産者と県産農産物を利用する食品企業・給食・宿泊施設等との取引にミスマッチが生じている。（学校給食県産食材利用率 R3：69.5%）

・SDGs やエシカル消費等の新たな価値観への関心の高まりや輸入原料の高騰などに伴い、環境にやさしい農業で生産された農産物の利用やより身近で生産される食に対するニーズが高まっている。

・新型コロナの感染拡大に伴う観光や外食産業等の需要の減少により、6次産業化をはじめ地域資源を活用した付加価値向上に取り組む事業者に影響が生じている。

・このため、関係部局が連携し、食と農に関連する多様な主体と共創して、消費・生産の双方からのアプローチによる地域内循環（地産地消・地消地産）の取組拡大や環境に配慮した農産物への消費者理解の促進、エシカル消費を意識した取組を進めていくことが必要。また、6次産業化事業者等の販路開拓や経営改善に向けて専門家等と連携したサポートが必要。

### 2 事業目的

・学校給食や宿泊施設、食品企業において県産農畜産物の活用が促進されるとともに、需要に応じた生産拡大が図られるようにする。

・有機農産物等環境にやさしい農業で生産された農産物が優先的に購買されるなどエシカル消費の理解が進むようにする。

・6次産業化をはじめ地域の多様な資源を活用した付加価値向上の取組が増加・進展し、所得と雇用機会の創出を通して、農村地域の活性化が図られるようにする。

### 3 事業目的を達成するための取組

**①食の地域内循環（地産地消・地消地産）の推進**

＜食品企業＞

・県産小麦等の県産食材の利用拡大、食品ロスの削減やエシカル消費につながる新商品開発の取組支援事業について、R4国補正予算で実施し、事業スキームとして県が予算執行を行わないことによる減額補正を実施。

※その他事業は当初予算どおり

**②農山村発イノベーションの推進**

・6次産業化をはじめ、地域資源を活用した付加価値向上に取り組む事業者へのソフト・ハード支援について、実績にあわせた減額補正を実施。

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①-1	学校給食における県産食材の利用割合（金額ベース）	%	—	70	—	70	↗	71	△	学校給食における県産食材の積極的な活用に向けて、食材の利用割合を指標として設定。R9年度に75%とすることが長期目標のため、初年度のR5年度は71%を目標とする。	
①-2	有機農産物を使用した給食を実施した学校の割合（一品以上）	%	—	28	—	30	↗	32	△	学校給食における環境にやさしい農業で生産された農産物の活用状況を指標として設定。R9年度に40%とすることが長期目標のため、初年度のR5年度は32%を目標とする。	
②	6次産業化等の重点支援事業者の付加価値額の向上率	%	—	—	—	110	—	110	△	重点支援事業者が所得向上につなげることができる付加価値額の向上率を指標として設定。（前年度比110%）	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-2②	地域内経済循環の推進	売上額1億円を超える農産物直売所数	施設	2019 (R1)	59	2020 (R2)	58	2021 (R3)	63	2027 (R9)	73
2-2②	地域内経済循環の推進	売上額1億円を超える農産物直売所売上高	億円	2019 (R1)	163	2020 (R2)	170	2021 (R3)	176	2027 (R9)	186

### 6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額					
R5年度	0	157,262	△ 136,100	△ 136,100		21,162	1,702	△	3.0
R4年度	0	128,752	△ 97,645			31,107	5,751	24,139	3.0
R3年度	0	118,699	△ 94,208			24,491	3,122	18,238	3.0

事業番号	09 02 02	<b>細事業一覧（令和5年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検		
事業名	<b>食の地域内循環と農山村発イノベーション推進事業</b>		部局	農政部	課・室 農産物マーケティング室

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
1	<b>食の地域内循環推進事業</b>		3,637 千円	7,230 千円	予算現額 6,062 うち今回 補正額 -8,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	学校給食等での有機農産物等の活用と食育活動の推進	直接委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機農産物等の活用促進コーディネーターを学校・給食調理場等へ派遣</li> <li>・学校・食堂等での有機農産物等の提供と食育の実施</li> </ul> 学校等へのコーディネーターの派遣：12箇所		
2	信州の食を活かした観光地域づくりの推進	直接補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信州の伝統野菜フェアの開催（全域）</li> <li>・県内大学等と連携した研修会や調理講習会の開催</li> <li>・信州の食をテーマとした観光・商工団体等の取組支援（補助金）</li> </ul> 研修会や調理講習会の開催数：5回		
3	食品企業等と連携した新たな商品開発の推進	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローカルフードプロジェクトプラットフォーム設置による地域食材を活用したビジネス創出への支援や食品企業等と連携した新商品開発への取組支援について、国及び民間事業者と連携しながら、国の直採択補助によるスキームで行ったことによる減額補正を実施。</li> </ul> プラットフォームへの参加事業者数：74者		
4	農産物直売所の活性化に向けた取組	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物直売所運営案内人による運営手法等の助言</li> <li>・農産物直売所の機能強化セミナーの開催</li> </ul> 案内人派遣先：7直売所		

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
2	<b>地域が輝く信州農山村発イノベーション推進事業</b>		20,854 千円	23,877 千円	予算現額 15,100 うち今回 補正額 -128,100 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	農山村発イノベーションサポート事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者の経営改善に向けた戦略策定・実行へのソフト支援について実績に合わせた減額補正を実施。</li> </ul> 戦略策定・実行支援対象事業者数：6事業者、セミナー開催数：7回		
2	農山村発イノベーション推進事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の補助事業による地域食材を活用した商品開発、販路開拓、施設整備等への支援について実績にあわせた減額補正を実施。</li> </ul> 補助対象事業者数：1事業者、補助総額：2,598千円		